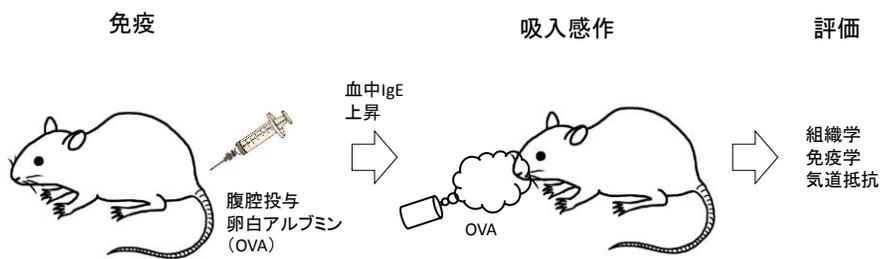


平成30年度
基礎的実験的研究計画
ぜん息モデルマウスの作製・評価

東京都健康安全研究センター
生体影響研究科

ぜん息モデルマウス

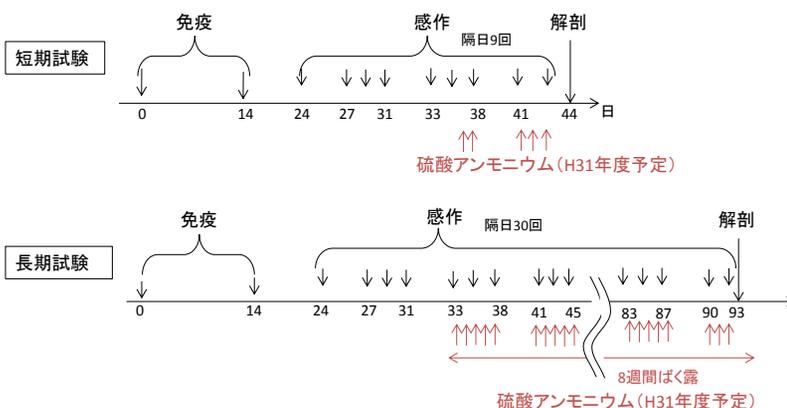


- 感作の方法は、鼻部ばく露と経鼻投与について比較検討する。
- 短期と長期の両方のモデルを作製する。



作製プロトコール

動物	BALB/c ♀マウス 8週齢
免疫	OVA 1 μ g in 水酸化アルミニウムゲル(アラム) /0.5mL/マウス 2回 (Day0、Day14)
感作	1% OVA ネブライザーによる鼻部吸入ばく露 又は 経鼻投与



評価項目

基本事項	体重、臓器重量
病理組織学	呼吸器系を中心に各臓器
肺機能測定	特異的気道抵抗 *
血液学	血球系検査
生化学	LDH活性、総タンパク質
免疫学	免疫グロブリン濃度 リンパ球サブセット分析(フローサイトメトリー) 肺胞洗浄液中の白血球分析 肺胞洗浄液中のサイトカイン類 肺組織・リンパ組織等の各種マーカー遺伝子(定量的RT-PCR) IL-1 β 、IL-4、IL-5、IL-6、KC、IL-13、IL-33、MCP-1、 CCL-5、CCL-11、TNF- α 、TSLP、Arg-1、Chi3I3、MMP-9、 TGF- β 、IGF-1、Clca-3、Muc5ac

*emka社のフレキシベント呼吸機能解析装置

